

九州・山口地域の安全・安心と経済的发展を支える社会資本整備について

九州・山口地域は、自動車や半導体関連産業が集積し、また、多彩な観光資源や農林水産資源などを有している。今後、九州・山口地域が一体となって将来に向けた成長戦略を描き、それを実現させていくためには、地域間連携の促進等によって、産業・観光資源等をフル活用していく視点が不可欠である。

また、今回の東日本大震災においては、高速道路や国道・鉄道のネットワークが住民避難や緊急輸送路としての機能を発揮するなど、災害時における社会資本の役割の大きさが改めて認識されたところであるが、その整備状況は依然として不十分なままである。

特に、九州・山口地域における高規格幹線道路や地域高規格道路の供用率は、それぞれ70.2%、33.9%と低迷しており、また、依然として、各地域には未整備区間(ミッシングリンク)が存在している状況にある。

さらに、九州新幹線は中国・関西圏との連携による社会経済の発展等に大きく寄与するものであるが、西九州ルートについては、将来的な見通しが立たないまま、その一部に依然として未着工区間が残されている状況にある。

また、農林水産業の生産基盤整備に関する予算は、農業者戸別所得補償制度をはじめとする国の予算の見直しを機に、大幅に削減されたままであるが、今後、国際競争力を高めていくためには、必要な生産基盤整備を推進し、生産力をさらに強化していかなければならない。

国においては、社会資本整備の中長期的見通しを示しながら、九州・山口地域の社会資本を計画的かつ早期に整備するよう求める。

1 高規格幹線道路・地域高規格道路の着実な整備

東九州自動車道や九州横断自動車道 長崎大分線・延岡線、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、那覇空港自動車道、山陰自動車道など、産業・観光振興や防災・減災対策等に重要な役割を果たす高規格幹線道路等を、明確な見通しの下で計画的に整備するとともに、早期にミッシングリンクを解消するよう、必要な予算については、「日本再生重点化措置」に係る分を含め、その総額を確保すること。

2 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の事業促進

武雄温泉～長崎間の標準軌による一括開業を目指して、平成23年度予算において未着工区間整備に係る留保分として計上されている財源を活用し、未着工区間である「諫早～長崎間」を速やかに認可・着工するとともに、新幹線整備と一体となる肥前山口～武雄温泉間の複線化等改良及びフリーゲージトレインの技術開発を促進すること。

3 農林水産業の確立に向けた生産基盤整備

農林水産業の生産基盤整備が依然として遅れている九州・山口地域の現状や、我が国の食料供給基地としての役割を十分認識の上、必要な生産基盤整備を計画的に推進できるよう、必要な予算額を確保すること。

平成23年11月

九州地方知事会

会長 大分県知事 広瀬 勝貞

